

住みやすいまちづくりを進めま
しょう!

②中分類 (政策)

都市基盤

1. 定住促進に資する計画的な土地利用の推進
(都市計画・住宅)
2. 生活を支える公共交通と道路ネットワークの充実
3. 公園・緑地の整備と維持管理の促進
4. 清潔な生活環境に資する生活排水対策及び
上水道の整備促進

やわらかいイメージ



①大分類
(基本目標)

Chapter 4 わいわい快適に暮らすまちづくり

仕事づくり、賑わいづくりを進
めましょう!

②中分類
(政策)

産業振興

1. 稲藪の豊かな農地の保全と元気で明るい
農業・水産業の振興
2. まちづくりと連携した商業・工業・観光の振興





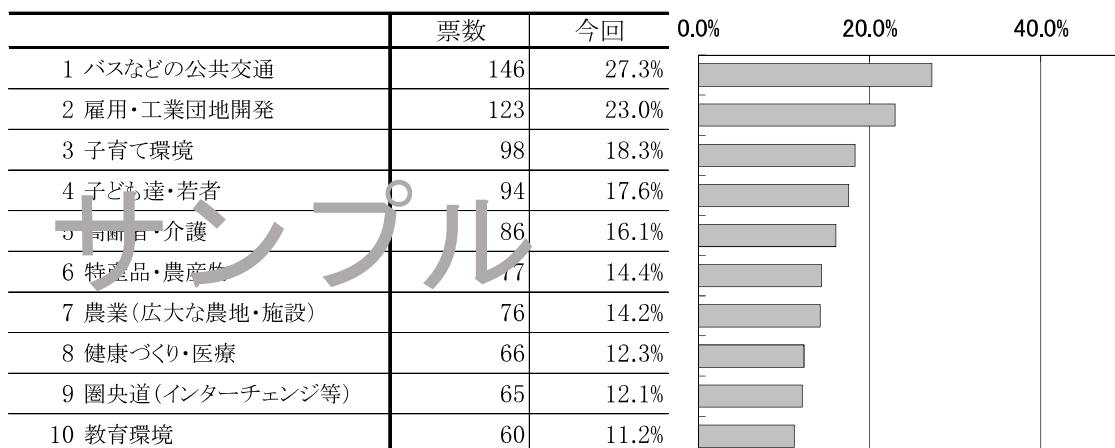
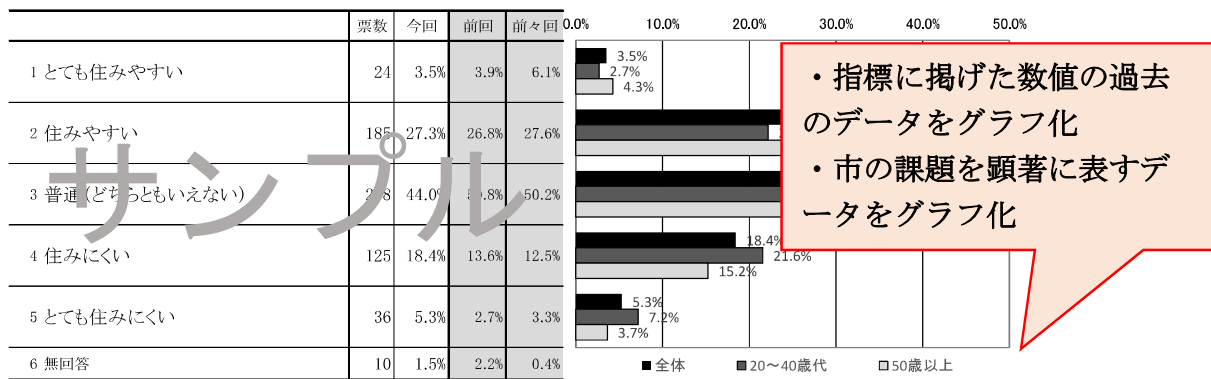
◆住みやすいまちづくりを進めましょう!

地域資源を生かし、人と人がつながり支え合うより豊かな暮らしが実現できるといいですね。

そんな暮らしを支える生活環境の整備・充実が大切です。また、稲敷市らしい住まいの提供や暮らしの提案などにより、住み続けられるまちづくりを進めましょう。



■今の稲敷をみると? (サンプル) - ②中分類 (政策) 単位



見開き 2ページ

指標にかかる現況
データ（グラフ）

指標にかかる現況
データ（グラフ）

- ・施策を極力シンプルに表現
- ・文言はすべて記入イメージです

2. 生活を支える公共交通と道路ネットワークの充実

■基本の考え方（基本施策）－③小分類（基本施策）

コミュニティバスなどの公共交通を利用することで、誰もが自由に、身近な買い物から公共の手続き、通勤通学などが便利で快適かつ環境に優しい社会の構築を目指します。

■取り組むこと（取組内容）－④細分類（具体的施策）

① 高速バス路線の整備及び利用促進

- ・成田・神崎・稲敷・阿見間などの広域的な公共交通の充実を図ります。
- ・高速バスの停留所に駐車場を整備するなど利用環境の向上を図ります。

② 基幹交通の起点となる拠点の整備

- ・道路体系の整備や公共施設再編と併せて、バスターミナル設置の検討をします。
- ・パークアンドバスライドの促進を図り、公共交通結節点の充実を目指します。

③ 地域間交通の整備推進

- ・バス路線事業の採算性向上に努めるとともに、関係機関と連携し利用促進方策の検討や利用状況に応じた運行のダイヤ・利用料金の見直しに取り組みます。

④ 市民ニーズに対応したバス路線の拡充や見直し

- ・既存のバス路線などとの連携を強化し、さらなる公共交通の利用促進に努めます。
- ・利用者ニーズを踏まえ、公共交通の利用促進策の拡充を図ります。

⑤ 地域内補完交通の整備

- ・地域交通利用券（タクシー利用券）補助事業により、利用者が基幹交通等へのアクセスを補完するなど交通の利便性を向上に努めます。

■目指すこと（目標指標）－③小分類（基本施策）で記入

指標値	指標の考え方	現況値 (H27年)	目標値 (H33年)
高速バスの満足度	高速バスの利便性を高めていくことで満足度を高めます(市民意識調査による値)	45%	55%
高速バスの利用者数	一日あたりの高速バス利用者	150人	200人
公共交通の満足度	市民ニーズを踏まえ、公共交通の環境の改善に努めることで満足度を高めます。(市民意識調査による値)	35%	45%
タクシー利用券利用枚数	年間のタクシー利用券の利用枚数	10,000枚	12,000枚

■関連事業名

- 高速バス運行事業
- 代替バス運行補助事業
- 地域交通利用券助成事業

指標は
イメージ